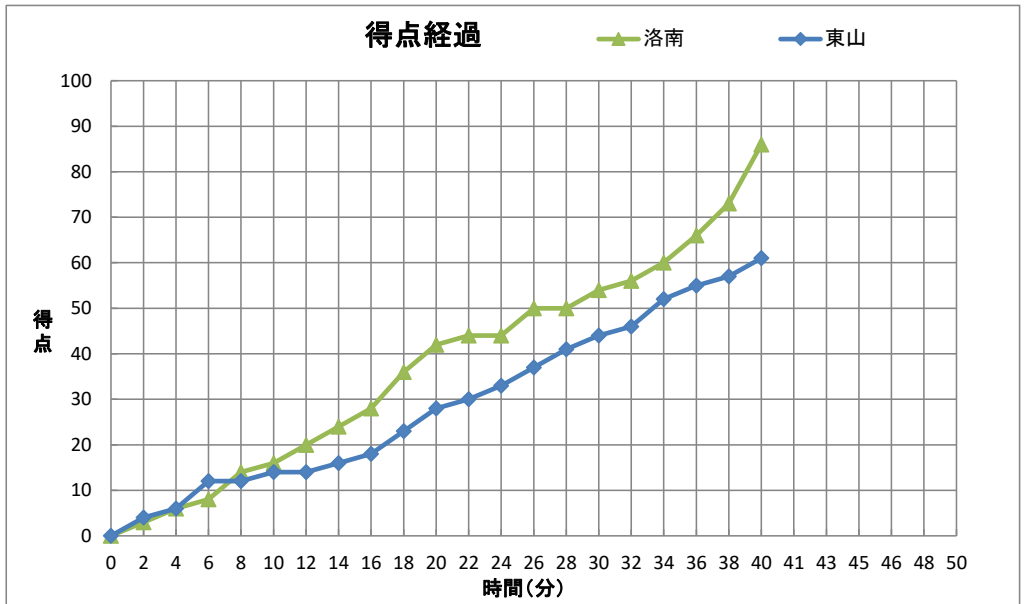




第42回京都府高等学校選手権大会 兼
第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

男子		10月30日		15:00 開始													
決勝リーグ		島津アリーナ京都		M													
◎ 洛南	86	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>26</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>32</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>	16	1st	14	26	2nd	14	12	3rd	16	32	4th	17	61	東山	
16	1st	14															
26	2nd	14															
12	3rd	16															
32	4th	17															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	西村 渉	13	0	5	3	4	* 4	佐藤 友	32	0	15	2	4				
* 5	星川 開聖	13	0	4	5	2	* 5	瀬川 琉久	9	1	3	0	4				
* 6	三浦 健一	20	0	7	6	1	6	志水 将修	3	1	0	0	0				
7	波多野 心優	0	0	0	0	0	7	角野 寛伍	5	1	1	0	1				
* 8	辻 永遠	7	1	2	0	3	8	曾我部 嵐史	6	0	3	0	1				
9	天野 幹也	16	4	2	0	0	9	竹内 龍ノ介	-	-	-	-	-				
* 10	井上 涼雅	3	1	0	0	1	10	瀧川 隼次	-	-	-	-	-				
11	小林 祐	-	-	-	-	-	11	伊計 叶貴	-	-	-	-	-				
12	和田 天祐	-	-	-	-	-	* 12	十川 虎之介	2	0	1	0	0				
13	後藤 亘貴	10	2	0	4	2	* 13	小泉 広翔	2	0	0	2	3				
14	津山 優希	0	0	0	0	0	14	飯田 流生	-	-	-	-	-				
15	高市 遥平	0	0	0	0	0	* 15	ナトゥリ オンケン ベナミネ	2	0	1	0	4				
16	池澤 智史	-	-	-	-	-	16	淡路 輪	0	0	0	0	0				
17	松本 泰	-	-	-	-	-	17	松島 慎弥	0	0	0	0	0				
18	中島 悠登	-	-	-	-	-	18	南川 陸斗	-	-	-	-	-				
コーチ	吉田 裕司					0	コーチ	大澤 徹也					0				
Aコーチ	河合 祥樹						Aコーチ										
合計		82	8	20	18	13	合計		61	3	24	4	17				
主審: 岩木 太郎 副審: 加藤 毅 副審: 片山 雄一郎																	



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:
TeamB	16:09	:	26:07	34:27	38:12	:

〔戦評〕
 決勝リーグ最終戦。ウィンターカップ出場権をかけて負けれない東山は#12がドライブ、#4のリバウンドシュートと力強いプレーで機先を制し、ディフェンスは2-3のゾーンでインサイドを固める。洛南はマンツーマンでスタートし、#10の3P、#6のスクープシュートとゾーンの隙を見つけ得点する。東山は#13のフリースロー、#5の3Pで6点リードとするが、ここから4分間ノーゴールとなる。一方の洛南は#5の速攻や#4のジャンプシュートが決まり逆転。16-14で洛南リード。
 第2Q、洛南は#13のフリースローで先制し、#4のリバウンドシュート、#5のドライブで加点していく。東山は#15のリバウンドシュート、#4のジャンプシュートでつなぐが洛南はゾーンプレスなどで仕掛け、東山は6分で4得点と苦しい時間になり、タイムアウト。それに応え東山#4が速攻・ゴール下、#6が3Pで得点する。洛南は堅いディフェンスから速攻の流れに持ち込むが得点にならない中、#9が3Pを沈めると、#8のドライブ、再び#9・#8の3Pと突き放し、42-28で洛南リード。
 後半、洛南#4が早々に4ファウルで不在となり、東山#4がゴール下・速攻と果敢に攻め、#5の鋭いドライブ、#8のジャンプシュートが決まり勢いに乗る。洛南は#6が要所でシュートを沈め何とか得点差をキープすると、東山はタイムアウト後に3-2のゾーンに変更し仕掛け、洛南を4分で4得点とし、#4が速攻・ゴール下で力強さを見せ54-44と10点差に追いつき第3Q終了。
 最終Q、東山は#7のジャンプシュート、#4のリバウンドシュート、#8の速攻で流れを掴むが、洛南#13の3Pで再び得点差を2桁に戻され、続けざまに#6の速攻がバスケットカウントとなり、東山は残り5分でタイムアウトをとる。タイムアウト明け、東山#7が3Pを決めるが、洛南#13がすぐさま3Pを返し、#6・#4が次々に速攻で得点し一気に突き放す。東山はファウルゲームをするも、洛南の勢いは止まらず#17が速攻で得点し、86-61で洛南の勝利となった。